

HTA 135

STIHL



2 - 28 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	4
5	高枝カッターの使用準備.....	11
6	バッテリーの充電、LED.....	12
7	起動と停止 Bluetooth® 無線通信インターフェース.....	12
8	高枝カッターの組み立て.....	12
9	バッテリーの取り外しと取り付け.....	15
10	高枝カッターのオン/オフ切り替え.....	16
11	高枝カッターとバッテリーの点検.....	16
12	高枝カッターの使用.....	18
13	作業後.....	19
14	運搬.....	19
15	保管.....	20
16	清掃.....	20
17	整備.....	21
18	修理.....	21
19	トラブルシューティング.....	22
20	技術仕様.....	23
21	パーとチェンの組み合わせ.....	24
22	キャリングシステムの組み合わせ.....	25
23	スペアパーツおよびアクセサリ.....	25
24	廃棄.....	25
25	EC 適合証明書.....	25
26	UKCA 適合宣言.....	26
27	パワーツールの安全上の一般的警告事項.....	26

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要ときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規則が適用されます。

- ▶ この取扱説明書に加えて以下の文書を読み、内容を理解し、保管してください：
 - 使用するキャリングシステムの取扱説明書
 - バッテリー STIHL AR の取扱説明書
 - 接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書
 - バッテリー STIHL AP の安全上の注意事項
 - 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書
 - STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

STIHL コネクテッド、互換性のある製品とよくある質問に関する詳細情報については、www.connect.stihl.com をご覧になるか、STIHL サービス店にお尋ねください。

Bluetooth®文字商標および図形商標（ロゴ）は、Bluetooth SIG, Inc の登録商標かつ所有物です。STIHL によるこの文字商標・図形商標の使用は、どの場合でもライセンスのもとで行われています。

Ⓞマークが付いたバッテリーには、Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっています。各地での使用上の制限（航空機や病院内など）に従う必要があります。

2.2 本書内の警告表示



- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

注記

- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

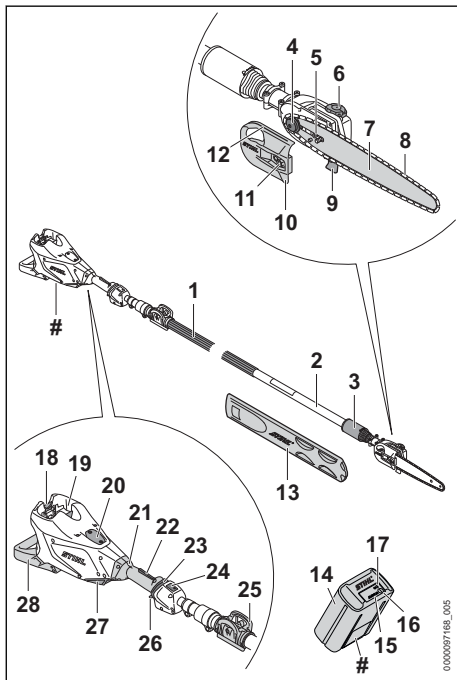
2.3 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 高枝カッター STIHL HTA 135 とバッテリー



- 1 ハンドルホース
ハンドルホースは、高枝カッターの保持と制御に使用します。
- 2 シャフト
シャフトによって全部品が連結されます。
- 3 クランプナット
クランプナットを使用して、シャフト長さを調整します。
- 4 チェンスプロケット
チェンスプロケットはソーチェンを駆動させる歯車です。

- 5 テンショニングスクリュー
テンショニングスクリューは、チェーンの張りを調整するためのものです。
- 6 オイルタンクキャップ
オイルタンクキャップを使用してオイルタンクに蓋をします。
- 7 ガイドバー
ガイドバーに沿ってソーチェンが伸びています。
- 8 ソーチェン
ソーチェンは木材を切断します。
- 9 リミットストップ
リミットストップによって、作業中に高枝カッターが木材のところで支えられます。
- 10 チェンスプロケットカバー
チェンスプロケットカバーはチェンスプロケットを覆い、ガイドバーを高枝カッターに固定します。
- 11 ナット
ナットはチェンスプロケットカバーを高枝カッターに固定します。
- 12 マーキングライン
マーキングラインを使用してソーチェンを正確に当てることができます。
- 13 チェンガード
チェンガードは使用者をソーチェンとの接触から保護します。
- 14 バッテリー
高枝カッターにはバッテリーから電力が供給されます。
- 15 LED
LED はバッテリーの充電状態と障害を表示します。
- 16 プッシュボタン
プッシュボタンを押すと、バッテリーの LED が有効になります。Bluetooth®無線インターフェース（装備されている場合）がオン・オフになります。
- 17 LED「BLUETOOTH®」（Ⓞマークが付いたバッテリーの場合のみ）
LED は Bluetooth®無線インターフェースのオン・オフを表示します。
- 18 ロッキングレバー
ロッキングレバーを使用して、バッテリーをバッテリーコンパートメントの中に保持します。
- 19 バッテリーコンパートメント
バッテリーコンパートメントにバッテリーを挿入します。

20 カバー¹

カバーはスマートコネクター 2 A の代替品として機能します。

21 コントロールハンドル

コントロールハンドルは、高枝カッターの操作、保持、制御に使用します。

22 トリガーロックアウト

トリガーロックアウトを使用して、トリガーのロックを解除します。

23 リリーススライド

リリーススライドは、高枝カッターのスイッチを入れるためのものです。

24 LED

LED は高枝カッターの状態を表示します。

25 クリップ

クリップは、キャリングシステムを掛けるためのものです。

26 トリガー

トリガーを使用して、高枝カッターのスイッチをオン・オフにします。

27 エアフィルター


エアフィルターは、エンジンが吸い込んだ空気をろ過します。


28 ベース


ベースは高枝カッターを床に置くためのものです。


マシン番号が記載された出カラベル**3.2 記号**

この記号は高枝カッターおよびバッテリーで見受けられ、その意味は以下の通りです：


 この位置ではクランプナットのロックが解除されています。シャフトを引き出すことができます。


 この位置ではクランプナットがロックされています。シャフトを引き出すことはできません。


 この記号は、ソーチェン粘着オイルのオイルタンクを示しています。

 この記号は、ソーチェンの回転方向を示しています。


 ソーチェンを張るための回転方向


 1つの LED が赤色に点灯する。バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。

 この記号は、リリーススライドを示しています。

 4つの LED が赤色で点滅する。バッテリー内部に障害があります。


 バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっており、STIHL コネクテッドアプリと接続することができます。


 記号の横にある数値は、セルメーカーの仕様に基づいたバッテリーのエネルギー容量を示しています。使用時に利用できるエネルギー容量はそれより小さくなっています。


 製品を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

4 安全に関する重要事項**4.1 警告マーク**


高枝カッターまたはバッテリー上の警告マークの意味は以下の通りです：

 安全上の指示とその対策を遵守してください。


 取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。

 保護メガネ、聴力保護具と保護ヘルメットを着用してください。

 防護ブーツを着用してください。

 作業用手袋を着用してください。

 安全な距離を維持してください。

 作業中断中、運搬中、保管中、メンテナンス・修理中はバッテリーを取り出してください。

¹カバーはエンジンハウジングの一部です。カバーの取外しは、スマートコネクター 2 A の取付けのためだけに行い、後に再び取り付けることができるように大切に保管してください。高枝カッターは、必ずカバーまたはスマートコネクター 2 A を装着して使用してください。



バッテリーを熱や火から保護してください。



バッテリーを液体に浸さないようにしてください。

4.2 正しい使用方法

高枝カッター STIHL HTA 135 は高木の剪枝や高木の枝の切り戻しに使用します。

高枝カッターは伐採には使用しないでください。

高枝カッターは雨天時にも使用することができません。

高枝カッターには、バッテリー STIHL AP または STIHL AR から電力が供給されます。

Ⓒマークが付いたバッテリーでは、STIHL コネクテッドアプリと組み合わせて、Bluetooth®テクノロジーに基づいてバッテリーに関する情報をパーソナライズして転送することができます。

▲ 警告

- STIHL が高枝カッター用に許可していないバッテリーを使用すると、火災や爆発に至る可能性があります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 高枝カッターはバッテリー STIHL AP または STIHL AR と共に使用してください。
- 高枝カッターまたはバッテリーを正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 高枝カッターは、この取扱説明書の記載通りに使用してください。
 - ▶ バッテリーは、この取扱説明書、バッテリー STIHL AR の取扱説明書、STIHL コネクテッドアプリそして www.connect.stihl.com の記載通りに使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 適切な研修または指導を受けていない使用者は、高枝カッターとバッテリーの使用に伴う危険の認識や認知ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また取扱説明書は必ず保管してください。

- ▶ 高枝カッターまたはバッテリーを譲渡する場合：必ずこの取扱説明書を一緒に手渡ししてください。

- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
 - 十分な休息をとっている。
 - 使用者は、高枝カッターとバッテリーを操作するために適切な身体的かつ精神的な状態にある必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は責任者の監督の下で、または責任者による指導とおりにのみ作業することができません。
 - 使用者は高枝カッターとバッテリーの使用に伴う危険を認識し、認知することができる。
 - 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
 - 使用者は、初めて高枝カッターを使用する前に、STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けてください。
 - アルコールまたは薬物の影響を受けていない。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 操作中、長髪は高枝カッターに吸い込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。
- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。



▶ イヤープロテクターを着用してください。

- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。
 - ▶ ヘルメットを着用してください。



- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 粉塵が発生するときは、防塵マスクを着用してください。

- 不適切な衣服は木や茂み、または高枝カッターに絡まる可能性があります。適切な保護装備を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
 - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、使用者は木材で負傷するおそれがあります。清掃中または整備中にソーチンに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。



▶ 耐切創手袋を着用してください。

- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの足が露出しない靴を着用してください。



4.5 作業エリアおよび周辺環境

4.5.1 高枝カッター

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、高枝カッターまたは飛散物の危険の認識や評価ができません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 15 m の範囲内に入らせないでください。

- ▶ 器物から 15 m の間隔を維持してください。
- ▶ 絶対に高枝カッターを無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供が高枝カッターで遊ばないよう注意してください。
- 高枝カッターの電気部品から火花が発生することがあります。引火や爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

4.5.2 バッテリー

▲ 警告

- 関係者以外、子供および動物は、バッテリーの危険性について認識することも判断すること

もできません。関係者以外、子供および動物が重傷を負う可能性があります。

- ▶ 関係者以外、子供および動物が近づかないようにしてください。
- ▶ バッテリーを誰もいないところに放置しないでください。
- ▶ 子供がバッテリーで遊ばないように安全を確保してください。

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発したり、修理不能な損傷を受けたりするおそれがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。



▶ バッテリーを熱や火から保護してください。

▶ バッテリーを火の中に投げ込まないでください。

- ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で充電、使用および保管しないようにしてください、☑ 20.5。



▶ バッテリーを液体に浸さないようにしてください。

- ▶ バッテリーを小さな金属部品に近づけないでください。
- ▶ バッテリーを高圧にさらさないでください。
- ▶ バッテリーをマイクロ波にさらさないでください。
- ▶ バッテリーを化学物質や塩分から保護してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 高枝カッター

高枝カッターは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 高枝カッターが損傷していない。
- 高枝カッターが清潔な状態にある。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- チェンの潤滑が正常に行われている。
- チェンスプロケットの摩耗の深さが 0.5 mm 未満。
- 本書内で推奨されているガイドバーとソーチンの組み合わせが装着されている。
- ガイドバーとソーチンが適切に装着されている。
- ソーチンの張りが適正になっている。
- 本高枝カッターモデル用に設計された STIHL 純正アクセサリだけが取り付けられている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。
- オイルタンクが密閉されている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷や致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 損傷している高枝カッターは使用しないでください。
 - ▶ 高枝カッターが汚れた場合は、高枝カッターを清掃してください。
 - ▶ 高枝カッターを改造しないでください。例外：本書内で推奨されているガイドバーとソーチェンの組み合わせの装着。
 - ▶ 操作部が正常に作動しない場合：高枝カッターを使用しないでください。
 - ▶ 必ず本高枝カッターモデル用に設計された STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。
 - ▶ ガイドバーとソーチェンは本取扱説明書に従って取り付けてください。
 - ▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
 - ▶ 高枝カッターの開口部には絶対に物を差し込まないでください。
 - ▶ オイルタンクキャップを閉めてください。
 - ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.2 ガイドバー

- ガイドバーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：
- ガイドバーが損傷していない。
 - ガイドバーが変形していない。
 - 溝の最小深さが維持されている。☑ 20.3
 - バーレールからバリが取り除かれている。
 - バーの溝が狭められたり、広がったりしていない。

▲ 警告

- ガイドバーが安全な状態にないときは、ソーチェンは適切に支持されず、正常に導かれなくなります。回転するソーチェンがガイドバーから飛び出すおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ガイドバーは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ 溝の深さが最小深さ以下の場合：新品ガイドバーを取り付けてください。
 - ▶ 毎週、ガイドバーからバリを取り除いてください。
 - ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 ソーチェン

- ソーチェンは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：
- チェンが損傷していない。
 - チェンが適切に目立てされている。
 - カッターのサービスマークがまだ見えている。

▲ 警告

- 部品が安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ソーチェンは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ チェンを適切に目立てしてください。
 - ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.6.4 バッテリー

- バッテリーは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：
- バッテリーが損傷していない。
 - バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
 - バッテリーが正常に機能し、改造されていない。

▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、バッテリーが安全に機能しなくなる可能性があります。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 損傷がなく、正常に機能するバッテリーを使用して作業してください。
 - ▶ 損傷または故障しているバッテリーは充電しないでください。
 - ▶ バッテリーが汚れている場合：バッテリーを清掃してください。
 - ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、☑ 20.6。
 - ▶ バッテリーを改造しないでください。
 - ▶ バッテリーの開口部に物を差し込まないでください。
 - ▶ バッテリーの電気接点を金属製品と接続すること、ならびに短絡することは控えてください。
 - ▶ バッテリーを開けないでください。
 - ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。
- 損傷したバッテリーから液体が漏れることがあります。この液体が皮膚や目に触れると、皮膚や目が炎症を起こす可能性があります。
 - ▶ 液体に触れないようにしてください。
 - ▶ 皮膚に触れてしまった場合：大量の石鹸と水で接触した皮膚部分を洗い流してください。

- ▶ 目に触れてしまった場合:大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 損傷や欠陥のあるバッテリーは、異臭を放ったり、煙が出たり、燃えたりすることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ バッテリーから異臭がする、または煙が出ている場合：バッテリーの使用を中断し、可燃物から遠ざけてください。
 - ▶ バッテリーが燃えている場合：消火器または水を使用して、バッテリーの消火を試みてください。

4.7 操作

4.7.1 鋸断

▲ 警告

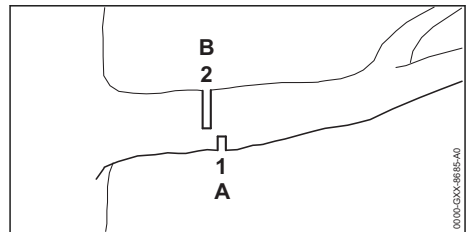
- 緊急時に助けを呼ぶことができるよう、他の作業者に声が届く範囲内で常に作業してください。
 - ▶ 声に反応して駆けつけることができる作業者を作業エリア外に確保してください。
- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。使用者が高枝カッターの制御を失ったり、つまずいたり、転倒したりし、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合：高枝カッターを使用しないでください。
 - ▶ 高枝カッターは一人で操作してください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。高所で作業を行う必要がある場合：昇降式の移動作業台または安定した足場を使用してください。
 - ▶ 疲労を感じたときは：休憩を取ってください。
- 回転するソーチェンでケガをすることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 回転するソーチェンには触れないでください。
 - ▶ ソーチェンに障害物が挟まった場合：高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外してから障害物を取り除いてください。
- 回転するソーチェンは熱を持ち、膨張します。十分に潤滑し、張り具合を調整しないと、ソーチェンがガイドバーから外れるが、破断することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ チェンオイルを使用してください。
 - ▶ 作業中は、ソーチェンの張りを定期的に点検します。ソーチェンの張りが不十分な場合：ソーチェンを張ります。

- 操作中に高枝カッターの動作が変化するか、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態がない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 作業を中止し、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店に連絡してください。
- 高枝カッター使用中は、振動が生じることがあります。
 - ▶ 手袋を着用してください。



- ▶ 休憩を取ってください。
- ▶ 血行障害の兆候が現れた場合：医師の診察を受けてください。
- 回転中のソーチェンが硬い物に当たると、火花が発生することがあります。周囲の可燃物が火花によって引火することがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 可燃物が周囲にある環境下では高枝カッターを使用しないでください。
- トリガースイッチを放してもソーチェンはしばらく回転し続けます。回転するソーチェンでケガをすることがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 高枝カッターを両手で確実に保持し、ソーチェンが停止するまで待ちます。
- 緊急時は使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

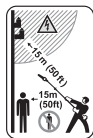
▲ 警告



- 張力が加わっている樹木の切断中は、ガイドバーが挟まる場合があります。使用者が高枝カッターの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ まず圧縮がかかっている側 (A) に負荷軽減カット (1) を入れ、次に張力が加わっている側 (B) を切断します (2)。

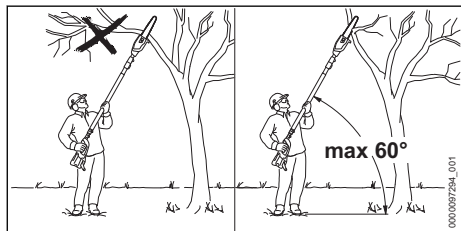
▲ 危険

- 通電中の電線の近くで作業を行うと、ソーチェンを誤ってケーブルに接触させ、損傷させてしまうことがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。



- ▶ 通電中の電線から常に 15 m の間隔を維持してください。

4.7.2 枝打ち

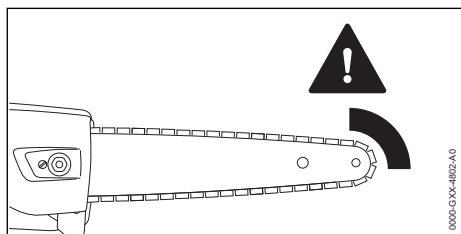


▲ 警告

- 枝払い中は、切り落とした枝が地面に落下することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 切断中の枝の下に立たないでください。
 - ▶ シャフトの角度を水平から 60°以内になるよう維持してください。

4.8 反発力

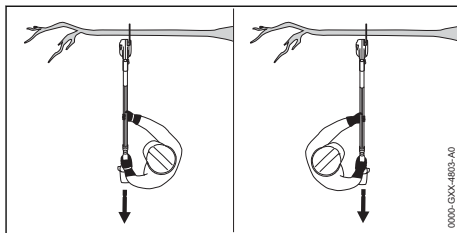
4.8.1 キックバック



キックバックは、以下の理由で生じることがあります：

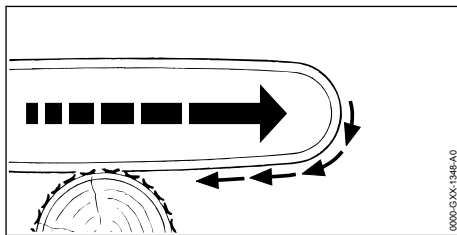
- ガイドバー先端上部 1/4 の部分で回転するソーチェンが硬い物体に触れ、急停止した。
- 回転するソーチェンがバー先端部で挟まった。

▲ 警告



- キックバックが生じると、高枝カッターは跳ね上がり、作業者の方向に戻ってきます。ユーザーが高枝カッターの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 必ず両手でしっかりと高枝カッターを保持してください。
 - ▶ 体を常にカッティングアタッチメントの面から離してください。
 - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
 - ▶ バーの先端上部 1/4 部分を使用して切断しないでください。
 - ▶ 必ず適切に目立てをし、張り具合を調整したソーチェンで切断してください。
 - ▶ キックバック低減ソーチェンを使用してください。
 - ▶ 先端部の径が小さいガイドバーを使用してください。
 - ▶ 常にチェンを最高速で作動させて切断してください。

4.8.2 プルイン



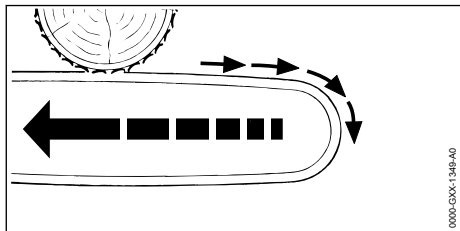
バーの下部を切断に使用すると、高枝カッターが作業者から遠ざかる方向に引かれます。

▲ 警告

- 回転するチェンが硬い物体に当たったり、急に挟まれたりすると、高枝カッターが作業者から遠ざかる方向に唐突に引っ張られることがあります。ユーザーが高枝カッターの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 必ず両手でしっかりと高枝カッターを保持してください。
 - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。

- ▶ ガイドバーは切り口の中でねじらないでください。
- ▶ ストップを適切に使用してください。
- ▶ 常にチェーンを最高速で作動させて切断してください。

4.8.3 プッシュバック



バーの上部を切断に使用すると、高枝カッターが作業者の方向に押し戻されます。

▲ 警告

- 回転するチェーンが硬い物体に当たったり、急に挟まれたりすると、高枝カッターが作業者の方向に唐突に押し戻されることがあります。ユーザーが高枝カッターの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 必ず両手でしっかりと高枝カッターを保持してください。
 - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
 - ▶ ガイドバーは切り口の中でねじらないでください。
 - ▶ 常にチェーンを最高速で作動させて切断してください。

4.9 運搬

4.9.1 高枝カッター

▲ 警告

- 高枝カッターは運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェーンガードを取り付けます。
- ▶ 転れたり、ずれたりしないよう、高枝カッターを固定ストラップまたはネットで固定します。

4.9.2 バッテリー

▲ 警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーは破損し、物的損害が生じるおそれがあります。
 - ▶ 破損したバッテリーは絶対に輸送しないでください。
- バッテリーは輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ バッテリーは、内部で固定が可能なパッケージを使用して輸送してください。
 - ▶ パッケージが動かないように固定してください。

4.10 保管

4.10.1 高枝カッター

▲ 警告

- 子供は高枝カッターの危険の認識や評価ができず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外してください。
- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェーンガードを取り付けます。
- ▶ 高枝カッターは子供の手の届かないところに保管してください。
- 湿気によって高枝カッターの電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それにより高枝カッターが損傷することがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ▶ 高枝カッターは、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.10.2 バッテリー

▲ 警告

- 子供は、バッテリーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負う可能性があります。
 - ▶ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーが修理不能な損傷を受けるおそれがあります。
 - ▶ バッテリーは清潔な乾燥した状態で保管してください。

- ▶ バッテリーは密閉空間に保管してください。
- ▶ バッテリーは高枝カッターから分離して保管してください。
- ▶ バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを40%～60%（緑色で点灯しているLEDが2つある状態）の充電レベルで保管してください。
- ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください、**19** 20.5。

4.11 清掃、整備、修理

▲ 警告

- バッテリーを取り付けたままにしておくと、清掃、整備、または修理時に高枝カッターが偶発的に始動するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、または尖った物体は、高枝カッター、ガイドバー、ソーチン、およびバッテリーを損傷させるおそれがあります。高枝カッター、ガイドバー、ソーチン、バッテリーを適切に清掃しないと、部品が正常に機能しなくなるが、安全装置が働かなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。

- ▶ 高枝カッター、ガイドバー、ソーチン、バッテリーは、本書に記載されているとおりに清掃してください。

- 高枝カッター、ガイドバー、ソーチン、バッテリーを適切に整備または修理しないと、部品が正常に機能しなくなるが、安全装置が働かなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 高枝カッターまたはバッテリーの整備または修理を試みないでください。

- ▶ 高枝カッターまたはバッテリーに整備や修理が必要になったときは：STIHL サービス店にお問い合わせください。

- ▶ ガイドバーとソーチンの整備や修理時は、本取扱説明書に従ってください。

- ソーチンの清掃中や整備中に、鋭利なカッターでケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。

- ▶ 耐切削手袋を着用してください。



5 高枝カッターの使用準備

5.1 高枝カッターの使用準備

毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

- ▶ 以下の部品が安全な状態にあることを確認してください：
 - 高枝カッター、**19** 4.6.1。
 - ガイドバー、**19** 4.6.2。
 - ソーチン、**19** 4.6.3。
 - バッテリー、**19** 4.6.4。
- ▶ バッテリーを点検してください、**19** 11.6。
- ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。
- ▶ 高枝カッターを清掃してください、**19** 16.1。
- ▶ 高枝カッターを組み立ててください、**19** 8.1。
- ▶ クリップを取り付けてください、**19** 8.2。
- ▶ ベースを取り付けてください、**19** 8.3。
- ▶ ガイドバーとソーチンを取り付けてください、**19** 8.4.1。
- ▶ ソーチンを張ってください、**19** 8.5。
- ▶ ソーチン粘着オイルを給油してください、**19** 8.6。
- ▶ シャフト長さを調整してください、**19** 12.1。
- ▶ クリップの位置を合わせてください、**19** 12.2。
- ▶ キャリングシステムを取り付け、調整してください、**19** 12.3。
- ▶ 操作部をテストしてください、**19** 11.4。
- ▶ チェンの潤滑状態を点検してください、**19** 11.5。
- ▶ この手順を踏むことができない場合：高枝カッターの使用を中止して、STIHL サービス店までご連絡ください。

5.2 Bluetooth®無線通信インターフェース搭載バッテリーと STIHL コネクテッドアプリの接続


- ▶ 携帯端末機器の Bluetooth®無線インターフェースをオンにしてください。
- ▶ バッテリーの Bluetooth®無線インターフェースをオンにしてください、**19** 7.1。
- ▶ アプリストアから STIHL コネクテッドアプリを携帯端末機器にダウンロードして、アカウントを作成してください。
- ▶ STIHL コネクテッドアプリを開いて、ログインしてください。
- ▶ バッテリーを STIHL コネクテッドアプリに追加して、画面の指示に従ってください。

連絡先やその他の情報は、<https://support.stihl.com> または STIHL コネクテッドアプリに記載されています。

STIHL コネクテッドアプリが利用できるかどうかは市場によって異なります。

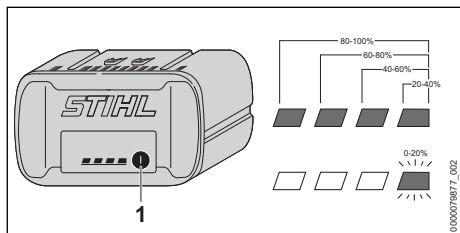
6 バッテリーの充電、LED

6.1 バッテリーの充電

充電時間は、バッテリーの温度や周囲温度などの様々な要因によって異なります。性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 20.6。実際の充電時間は、記載されている充電時間とは異なる場合があります。充電時間は www.stihl.com/charging-times に記載されています。

- ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーを充電してください。

6.2 充電残量を表示する




- ▶ ボタン (1) を押します。
LED が約 5 秒間緑色で点灯し、充電状態が表示されます。
- ▶ 右側の LED が緑色で点滅した場合は、バッテリーを充電してください。

6.3 バッテリーの LED


LED は、充電状態または故障を表示します。LED は、緑色または赤色で点灯/点滅します。

LED が緑色で点灯または点滅しているときは、充電状態が表示されています。

- ▶ LED が赤色で点灯または点滅：トラブルシューティング、 19。
高枝カッターまたはバッテリーに異常が生じています。


7 起動と停止 Bluetooth® 無線通信インターフェース

7.1 Bluetooth®無線通信インターフェースのオン

- ▶ バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっている場合：プッシュボタンを押して、 マークの隣にある LED 「BLUETOOTH®」が約 3 秒間青色で点灯するまで押し続けてください。

Bluetooth®無線通信インターフェースがオンになります。

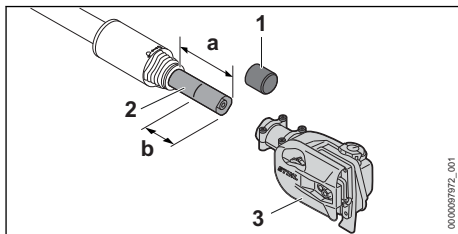
7.2 Bluetooth®無線通信インターフェースのオフ

- ▶ バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっている場合：プッシュボタンを押して、 マークの隣にある LED 「BLUETOOTH®」が青色で 6 回点滅するまで押し続けてください。
Bluetooth®無線通信インターフェースがオフになります。

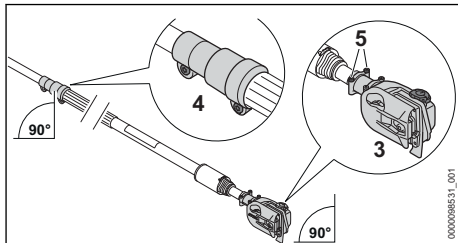
8 高枝カッターの組み立て

8.1 高枝カッターの組み立て

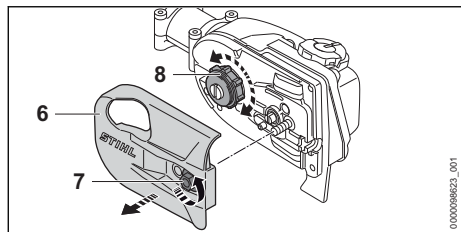
- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。



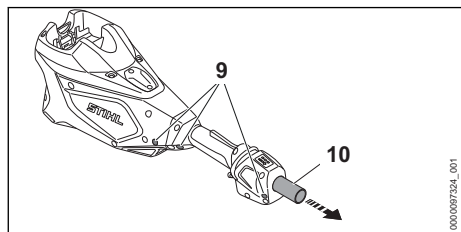
- ▶ 保護キャップ (1) を取り外します。
- ▶ シャフトの長さを $a = 10 \text{ cm}$ になるよう調整します。
- ▶ シャフト (2) 上の $b = 6 \text{ cm}$ の位置に印を付けます。



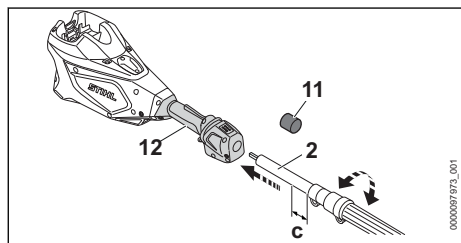
- ▶ コレット (4) とトランスミッション (3) を図の位置に合わせます。
- ▶ トランスミッション (3) をシャフト (2) の b の位置まで差し込みます。
- ▶ スクリュー (5) をしっかりと締め付けます。



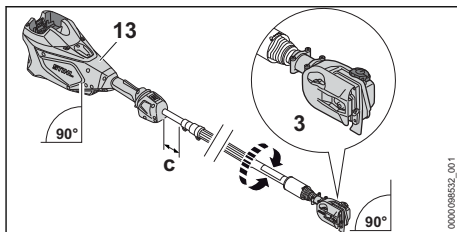
- ▶ トランスミッション (3) をシャフト (2) の b の位置まで差し込むことができない場合
- ▶ チェンスプロケットカバー (6) が取り外し可能な状態になるまでナット (7) を反時計回りにまわします。
- ▶ チェンスプロケットカバー (6) を取り外します。
- ▶ チェンスプロケット (8) を回転させ、トランスミッション (3) をシャフト (2) の b の位置まで差し込みます。
- ▶ 高枝カッターと面一になるようチェンスプロケットカバー (6) を取り付けます。
- ▶ ナット (7) を取り付け、確実に締め付けます。



- ▶ スクリュー (9) を取り外します。
- ▶ 保護チューブ (10) を引き抜きます。



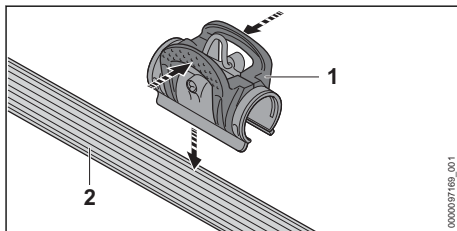
- ▶ 保護キャップ (11) を取り外します。
- ▶ シャフト (2) を回転させてコントロールハンドル (12) の方向に押し、距離 $c = 2 \text{ cm}$ に設定します。



- ▶ ハウジング (13) とトランスミッション (3) を図示されている位置に合わせます。
 - ▶ スクリュー (9) をしっかりと締め付けます。
- 高枝カッターを再び分解する必要はありません。

8.2 クリップの取り付け

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。

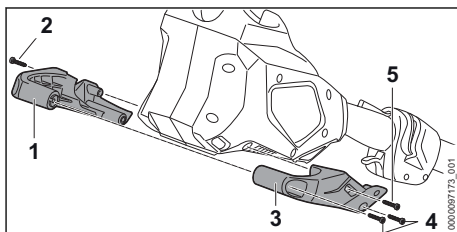


- ▶ クリップ (1) をすぼめ、ハンドルホース (2) に取り付けます。

クリップを取り外す必要はありません。

8.3 マシンサポートの取り付け

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。




- ▶ 左側マシンサポート (1) をカバーの側面に当てます。
- ▶ スクリュー (2) を取り付けます。
- ▶ 右側マシンサポート (3) をカバーの側面に当てます。
- ▶ スクリュー (5) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (4) をねじ込み、締め付けます。
- ▶ スクリュー (2) と (5) を確実に締め付けます。

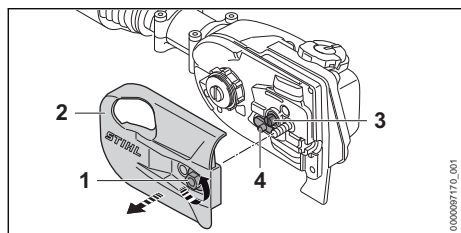
マシンサポートは取り外す必要はありません。

8.4 バーとチェーンの取り付け/取り外し

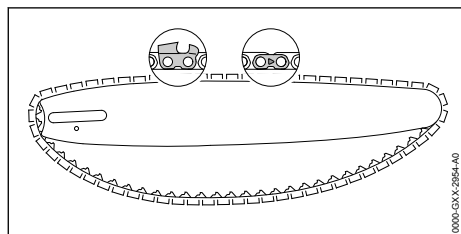
8.4.1 ガイドバーとソーチェーンの取り付け

チェンスプロケットと共に使用可能なガイドバーとソーチェーンの組み合わせは、仕様書、 21.1 に記載されています。

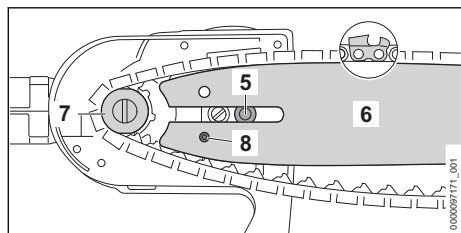
▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。



- ▶ チェンスプロケットカバー (2) が取り外し可能な状態になるまでナット (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ チェンスプロケットカバー (2) を取り外します。
- ▶ テンショナーズライド (4) がハウジングの左端に当たるまでテンショニングスクリュー (3) を反時計回りにまわします。



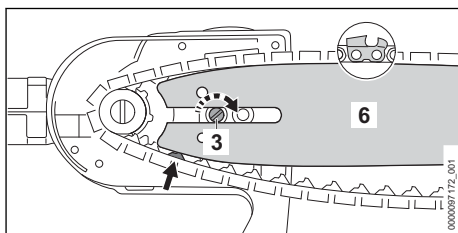
- ▶ ソーチェーンをガイドバーの溝に取り付けます。バー上部のタイストラップの矢印を回転方向に向けてください。



- ▶ ガイドバーをソーチェーンと共に高枝カッターに取り付け、以下を点検します：
 - ソーチェーンのドライプリングがチェンスプロケット (7) の歯と噛み合っている。
 - カラースタッド (5) がガイドバー (6) の後部にあるスロットに入っている。

- テンショナーズライド (4) のベグがガイドバー (6) の穴 (8) にはまっている。

ガイドバー (6) は、どちら向きでも装着できます。ガイドバー (6) 上のロゴも上下が逆になる場合があります。



- ▶ チェンがたるみなしにガイドバーにフィットするまで、テンショニングスクリュー (3) を時計回りにまわします。ドライプリングがバーの溝とかみ合っているか確認してください。ガイドバー (6) とソーチェーンが高枝カッターに適切に装着されます。
- ▶ 高枝カッターとぴったり重なるようにチェンスプロケットカバー (2) を取り付けます。
- ▶ ナット (1) を取り付け、確実に締め付けます。

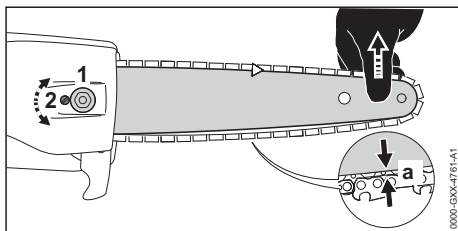
8.4.2 ガイドバーとソーチェーンの取り外し

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ チェンスプロケットカバーが取り外し可能な状態になるまでナットを反時計回りにまわします。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り外します。
- ▶ テンショニングスクリューを反時計回りに止まるまでまわします。この段階でチェーンが緩みます。
- ▶ ガイドバーとソーチェーンを取り外します。

8.5 ソーチェーンの張り方

ソーチェーンは鋸断作業中に伸縮します。その結果、チェーンの張り具合が変化します。作業中はチェーンの張り具合を定期的に点検し、必要に応じて再調整してください。

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。



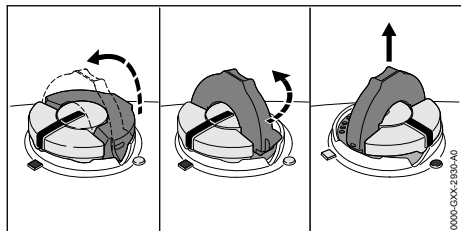
- ▶ ナット (1) を緩めます。

- ▶ ガイドバーのノーズを持ち上げ、以下の状態になるまでテンショニングスクリュー (2) を時計回りにまわします：
 - ガイドバー中央のチェーンのたるみ'a'が 1-2 mm。
 - ソーチェーンをガイドバーに沿って二本の指で簡単に引くことができる。
- ▶ ガイドバーのノーズを持ち上げたまま、ナット (1) をしっかりと締め付けます。
- ▶ ガイドバー中央のチェーンのたるみ'a'が 1-2 mm でない場合：ソーチェーンの張りを再調整します。

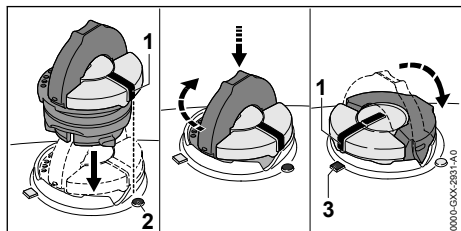
8.6 チェンオイルの給油

ソーチェーンオイルは回転するチェーンを潤滑し、冷却します。

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ オイルタンクキャップが上を向くように高枝カッターを平らな面に置きます。
- ▶ 湿らせた布でオイルタンクキャップと周囲部を掃除します。



- ▶ オイルタンクキャップのグリップを垂直位置まで起こします。
- ▶ オイルタンクキャップを反時計回りに止まるまでまわします。
- ▶ オイルタンクキャップを取り外します。
- ▶ チェンオイルを給油します。オイルをこぼしたり、タンクからあふれさせたりしないよう注意してください。
- ▶ オイルタンクキャップのグリップが閉位置に下がったときは：グリップを垂直位置に起こします。

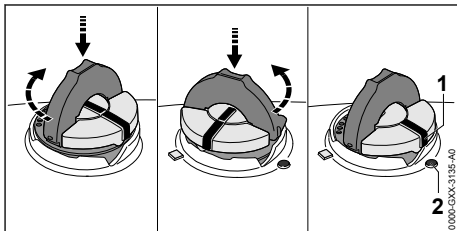


- ▶ オイルタンクキャップを注入口にかがせ、印 (1) を印 (2) に合わせます。

- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。
オイルタンクキャップが所定の位置にはまりません。印 (1) が印 (3) に合います。
- ▶ オイルタンクキャップを引き上げ、外れるかどうか点検します。
- ▶ 引き上げてもオイルタンクキャップが外れない場合：オイルタンクキャップのグリップを倒します。
オイルタンクが密閉されます。

引き上げるとオイルタンクキャップが外れてしまう場合は、以下の手順に従ってください：

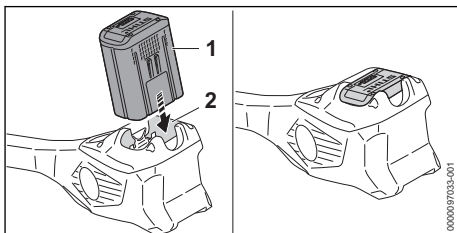
- ▶ オイルタンクキャップを注入口に載せませよどの位置でも構いません。



- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、止まるまで時計回りにまわします。
- ▶ オイルタンクキャップを押し下げ、反時計回りにまわし、印 (1) を印 (2) に合わせます。
- ▶ オイルタンクキャップを再び閉めます。
- ▶ オイルタンクが適切に閉まらない場合：高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
高枝カッターは安全な状態ではありません。

9 バッテリーの取り外しと取り付け

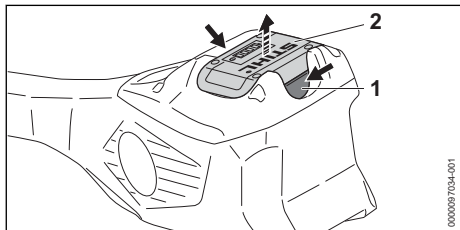
9.1 バッテリーの挿入



- ▶ バッテリー (1) をリミットストップの位置までバッテリーコンパートメント (2) に差し込みます。
カチッという音がしてバッテリー (1) が定位置にはまり、ロックされます。

9.2 バッテリーの取り外し

- ▶ 高枝カッターを平坦な面に置きます。

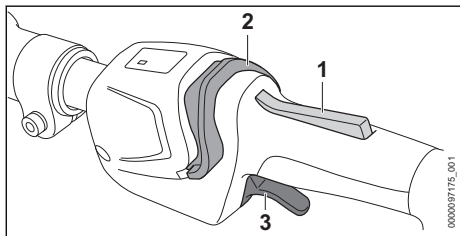


- ▶ 両方のロックングレバー (1) を押します。ロックが解除され、バッテリー (2) の取り外しが可能になります。

10 高枝カッターのオン/オフ切り替え

10.1 高枝カッターの電源を入れる

- ▶ 片方の手でコントロールハンドルを握ります。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 反対側の手でハンドルホースを握り、高枝カッターを確実に保持します。ハンドルホースに親指をかけてください。



- ▶ トリガーロックアウト (1) を指で押したままにします。
 - ▶ 親指でリリーススライド (2) をループハンドルの方向に押したまま保持します。LED が点灯します。
 - ▶ 人差し指でトリガー (3) を引き、そのまま保持します。
- モーターが加速し、ソーチェンが回転します。

トリガー (3) を握ると、ソーチェンが加速します。

高枝カッターは、まずリリーススライド (2) を押し、5 秒以内 (LED の点滅中) にトリガーロックアウト (1) を押すことでもオンにすることができます。トリガー (3) のロックが解除され、高枝カッターの使用準備が整います。

電源をオンしてからトリガー (3) とトリガーロックアウト (1) を放すと、LED がさらに 5 秒間点滅します。LED の点滅中は、リリーススライド

(2) を操作する必要なしに高枝カッターの電源を再びオンにすることができます。

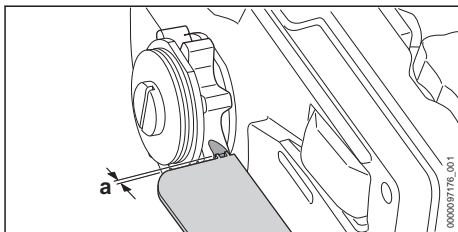
10.2 高枝カッターの電源を切る

- ▶ トリガーとトリガーロックアウトを放します。
- ▶ 約 1 秒後にソーチェンが完全に停止するまで待ちます。
- ▶ ソーチェンが約 1 秒が経過した後も作動し続ける場合：バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にお問い合わせください。高枝カッターが故障しています。

11 高枝カッターとバッテリーの点検

11.1 チェンスプロケットの点検

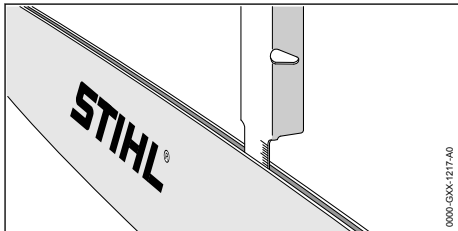
- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り外します。
- ▶ ガイドバーとソーチェンを取り外します。




- ▶ STIHL ゲージを使用してチェンスプロケットの摩耗を点検します。
- ▶ 摩耗マークが $a = 0.5 \text{ mm}$ よりも深い場合：高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。チェンスプロケットを交換してください。

11.2 ガイドバーの点検

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ ソーチェンとガイドバーを取り外します。

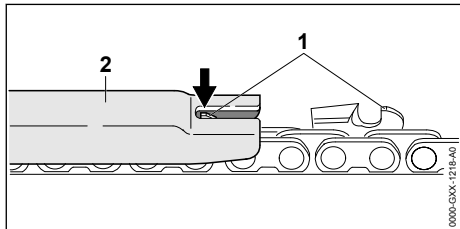



- ▶ STIHL ファイリングゲージの目盛でガイドバーの溝の深さを測定します。

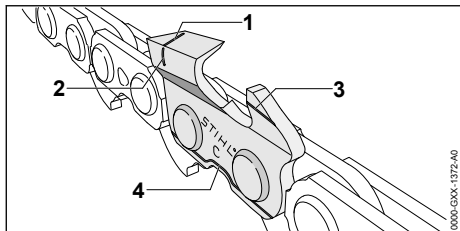
- ▶ 以下のいずれかが生じているときは、新品ガイドバーを取り付けてください：
 - ガイドバーが損傷している。
 - 測定されたガイドバーの溝の深さが、規定の最小深さ以下になっている、 20.3。
 - ガイドバーの溝が狭まっているが、広がっている。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

11.3 ソーチェンの点検

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。



- ▶ STIHL ファイリングゲージ (2) を使用してデプスゲージ (1) の高さを測定します。STIHL ファイリングゲージは、ソーチェンのピッチと適合していなければなりません。
- ▶ デプスゲージ (1) がファイリングゲージ (2) から突き出る場合：デプスゲージ (1) をヤスリで低くし、 17.3。



- ▶ カッター上のサービスマーク (1 - 4) が目視できるか確認します。
- ▶ カッター上のサービスマークのいずれかが目視できない場合：ソーチェンを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
- ▶ STIHL ファイリングゲージを使用し、全カッターで 30° の目立て角度が維持されているか点検します。STIHL ファイリングゲージは、ソーチェンのピッチと適合していなければなりません。
- ▶ 30° の目立て角度が維持されていなかった場合：ソーチェンを再び目立てしてください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

11.4 操作部の点検

トリガーロックアウトとトリガー

- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ トリガーロックアウトを押さずにトリガーを握ってみます。
- ▶ トリガーを握ることができるときは、高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にご連絡ください。
- ▶ トリガーロックアウトが故障しています。
- ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
- ▶ トリガーを握り、放します。
- ▶ トリガーまたはトリガーロックアウトが円滑に動かないか、初期位置に戻らない場合は、高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。トリガーまたはトリガーロックアウトが故障しています。

高枝カッターの電源を入れる

- ▶ バッテリーを挿入します。
- ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
- ▶ 親指でリリーススライドをソーチェンの方向に押したまま保持します。
- ▶ トリガーを握ります。ソーチェンが作動します。
- ▶ バッテリーの 3 個の LED が赤色で点滅した場合は、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。高枝カッターに異常が生じています。
- ▶ トリガーを放します。ソーチェンが約 1 秒後に停止します。
- ▶ ソーチェンが約 1 秒が経過した後も作動し続ける場合：バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にお問い合わせください。高枝カッターが故障しています。

11.5 チェンオイルの潤滑状態点検

- ▶ バッテリーを取り付けます。
- ▶ ガイドバーを明るい面にかざします。
- ▶ 高枝カッターの電源を入れます。チェンからチェンオイルが飛び散り、明るい面上で確認できます。チェンの潤滑機能は正常に働いています。
- ▶ チェンオイルが確認できない場合：
 - ▶ チェンオイルを給油します。
 - ▶ チェンの潤滑状態を再点検します。
 - ▶ 明るい面でチェンオイルが依然として確認できない場合：高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。チェンの潤滑機能に不具合が生じています。

11.6 バッテリーのテスト

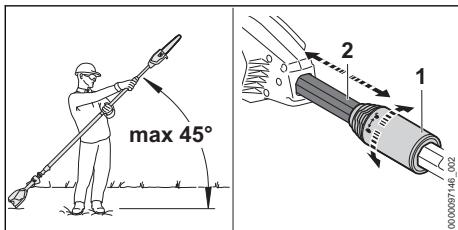
- ▶ バッテリーのボタンを押します。
LED が点灯または点滅します。
- ▶ LED が点灯または点滅しない場合: バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
バッテリーが故障しています。

12 高枝カッターの使用

12.1 シャフトの長さ調整

シャフトは、用途やユーザーの身長の高さに合わせて様々な長さに調整することができます。

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



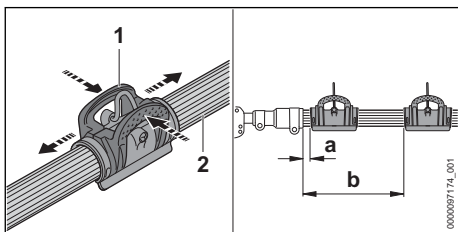
- ▶ クランプナット (1) を θ の方向に半回転させます。
- ▶ シャフト (2) を希望の長さに調整します。
- ▶ クランプナット (1) を θ の方向に止まる位置まで回します。
- ▶ シャフト (2) がそれ以上伸縮できない状態になり、クランプナット (1) が θ の方向に最後まで締め付けられているか確認します。

シャフト (2) が伸縮できない状態で、クランプナットが θ の方向の止まる位置まで締め付けられている場合は、シャフトの長さ調整は適切に行われています。

12.2 クリップの位置調整

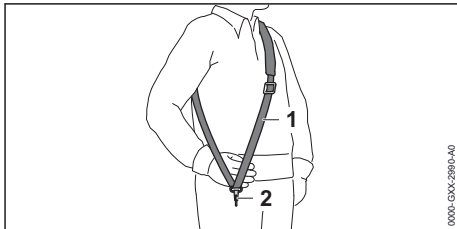
クリップはシャフトの長さに応じてさまざまな位置に移動することができます。

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。




- ▶ クリップ (1) をすぼめ、ハンドルホース (2) 上で移動させます。下記の条件が満たされているか確認してください。
 - シャフトを収縮させた状態では、 $a = 15 \text{ cm}$
 - シャフトを完全に伸ばした状態では、 $b = 50 \text{ cm}$

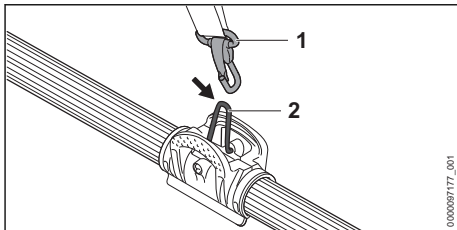
12.3 肩掛けベルトの取り付けと調整



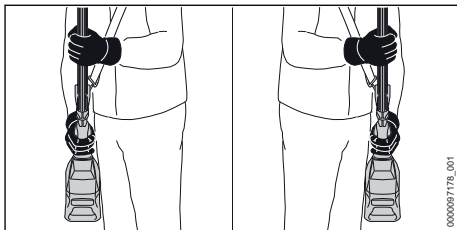
- ▶ 肩掛けベルト (1) を着用します。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅下がった位置に来るように肩掛けベルト (1) の長さを調整します。

承認されている他のキャリングシステムは、本書に記載されています、 22.1。

12.4 高枝カッターの保持と制御



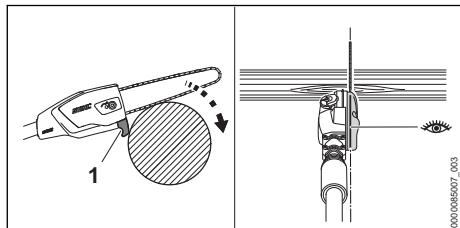
- ▶ 吊り下げ用リング (2) をカラбина (1) に接続します。



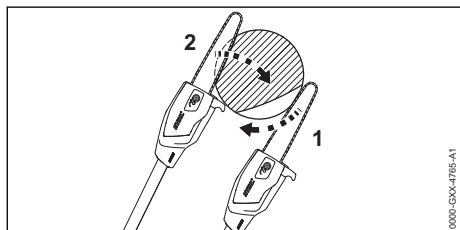
- ▶ 片方の手でコントロールハンドルを握ります。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 反対側の手でハンドルホースを握り、高枝カッターを確実に保持します。ハンドルホースに親指をかけてください。

12.5 枝下ろし

垂直切り

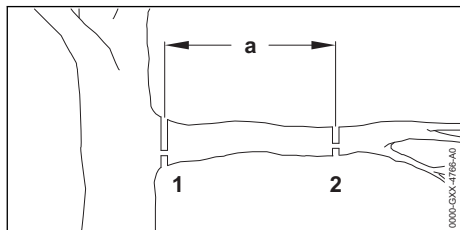


- ▶ リミットストップ (1) を枝にあてがいます。マーキングラインを使用してソーチェンを正確に当てることができます。
- ▶ ガイドバーをフルスロットルでテコのように動かしながら枝に押しつけます。
- ▶ 枝をガイドバーの下側で切り落とします。



- ▶ 枝に張力が掛かっている場合は、押す力が加わっている側に負荷軽減カット (1) を入れた後に、引く力が加わっている側から垂直切断 (2) で切り落とします。

太い枝の切断



- ▶ 希望の切断位置 (1) から 20 cm (間隔 a) 手前の切断位置 (2) で、負荷軽減カット (2) を入れて垂直切断して枝を短くします。
- ▶ 希望の切断位置 (1) で負荷軽減カットを入れて垂直切断します。

性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 20.6。

13 作業後

13.1 作業後

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 高枝カッターが濡れている場合：高枝カッターを乾かしてください。
- ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、 20.6。
- ▶ 高枝カッターを清掃してください。
- ▶ ガイドバーとソーチェンを清掃してください。
- ▶ ナットをチェーンプロケットカバーから外します。
- ▶ テンショニングスクリューを反時計回りに 2 回転させます。ソーチェンが緩みます。
- ▶ ナットをチェーンプロケットカバーに締め付けます。
- ▶ チェンガードをガイドバー上にスライドさせ、ガイドバー全体を覆うようにします。
- ▶ バッテリーを清掃してください。

14 運搬

14.1 高枝カッターの運搬

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェンガードを取り付けます。
- ▶ シャフトを完全に押し込みます。

高枝カッターの運搬

- ▶ 高枝カッターは、ガイドバーが身体の後ろ側に来るようにして、片手でシャフトを持って運搬します。

高枝カッターの車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう高枝カッターを固定します。

14.2 バッテリーの運搬

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ バッテリーが安全な状態にあるか確認します。
- ▶ パッケージの中でバッテリーが動かないように梱包してください。
- ▶ パッケージが動かないよう固定してください。

バッテリーには危険物輸送規則が適用されます。本バッテリーは UN 3480 (リチウムイオンバッテリー) として分類されており、国連試験基準マニユアル、パート III、サブセクション 38.3 に従って試験済みです。

輸送時の規制については、右記を参照してください：www.stihl.com/safety-data-sheets。


15 保管

15.1 高枝カッターの保管

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ ガイドバーを完全に覆うようにチェンガードを取り付けます。
- ▶ 高枝カッターを保管するときは、以下の点を遵守してください：
 - 高枝カッターを子どもの手の届かない場所に保管する。
 - 高枝カッターを清潔かつ乾いた状態にする。
- ▶ 高枝カッターを 30 ヶ月以上保管する場合は、ガイドバーとソーチェンを取り外します。

15.2 バッテリーの保管

STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。

- ▶ バッテリーは以下の条件が満たされるように保管してください：
 - バッテリーが子供の手の届かないところにあること。
 - バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
 - バッテリーが密閉空間にあること。
 - バッテリーが高枝カッターから分離されていること。
 - バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管してください。
 - バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管していない、 20.5。

注記

- バッテリーをこの取扱説明書の記載通りに保管しないと、バッテリーが過放電して損傷し、修復不可能になる可能性があります。
 - ▶ 放電したバッテリーは、保管する前に充電してください。STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。
 - ▶ バッテリーは高枝カッターから分離して保管してください。

16 清掃

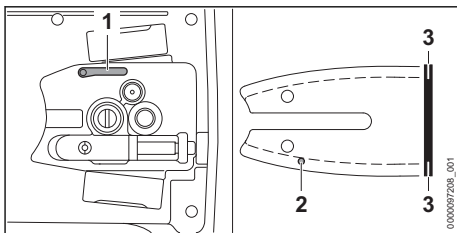
16.1 高枝カッターの清掃

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ 湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で高枝カッターを掃除します。

- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントから異物を取り除き、湿らせた布でバッテリーコンパートメントを掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を塗装用のはけか柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り外します。
- ▶ チェンスプロケット周辺部を湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ チェンスプロケットカバーを取り付けます。

16.2 ガイドバーとソーチェンの清掃

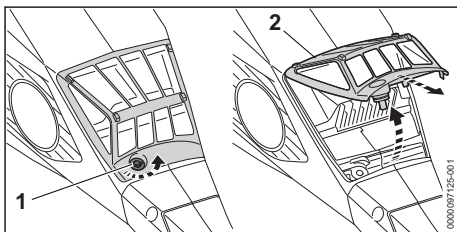
- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。
- ▶ ガイドバーとソーチェンを取り外します。



- ▶ オイルポート (1)、オイルインレット孔 (2)、バーの溝 (3) を柔らかいブラシまたは STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ ソーチェンを柔らかいブラシまたは STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ ガイドバーとソーチェンを取り付けます。

16.3 エアフィルターの清掃

- ▶ 高枝カッターのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外します。



- ▶ エアフィルター (2) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ エアフィルター (2) が取り外し可能な状態になるまでスクリュー (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ エアフィルター (2) を上方向にまわし、引き外します。
- ▶ エアフィルター (2) を流水ですすぎ、外側から粗いごみを取り除きます。
- ▶ エアフィルター (2) が損傷している場合：新品のエアフィルター (2) を取り付けてください。

- ▶ エアフィルター (2) を自然乾燥させます。
- ▶ エアフィルター (2) をハウジングに取り付け、押し下げます。
エアフィルター (2) は、全面でハウジングと面一になります。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

16.4 バッテリーの清掃

- ▶ バッテリーを、湿らせた布で拭きます。

17 整備

17.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

50 運転時間毎

- ▶ エアフィルターを掃除する。

毎年

- ▶ STIHL サービス店に高枝カッターの点検を依頼してください。

17.2 ガイドバーのバリ取り

ガイドバーの外端部にはバリが生じることがあります。

- ▶ バリは平ヤスリまたは STIHL ガイドボードレスリングツールを使用して取り除いてください。
- ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店に連絡してください。

17.3 ソーチェンの目立て

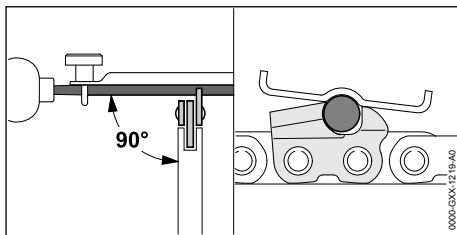
ソーチェンを適切に目立てするには、練習を重ねる必要があります。

STIHL ヤスリ、STIHL 目立て補助具、STIHL 目立て機、「STIHL ソーチェンの目立て」冊子は、良い結果を生むのに役立ちます。冊子は、右記のサイトから入手できます：<http://www.stihl.com/sharpening-brochure>

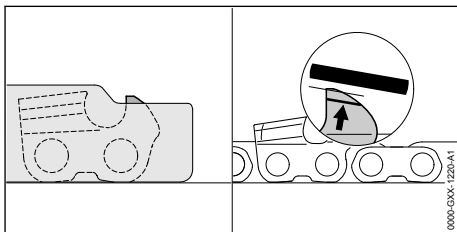
STIHL 社では、ソーチェンの目立てを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

警告

- チェンのカッター部分は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。



- ▶ 以下の点を遵守しながら各カッターに丸ヤスリをかけます：
 - 丸ヤスリがチェンのピッチと適合しているか確認します。
 - カッターの内側から外側に向かってヤスリをかけます。
 - ヤスリをガイドバーに対して直角になるように保持します。
 - 30°の目立て角度を維持します。



- ▶ STIHL ファイリングゲージと同一高になり、サービスマークと平行になるようデプスゲージを平ヤスリで削ります。STIHL ファイリングゲージは、チェンのピッチと適合していなければなりません。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

18 修理

18.1 高枝カッターとバッテリーの修理

ユーザーが高枝カッター、ガイドバー、ソーチェン、バッテリーを修理することはできません。

- ▶ 高枝カッター、ガイドバー、ソーチェンが損傷した場合：高枝カッターを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ▶ バッテリーに不具合が生じるか、損傷した場合：バッテリーを交換してください。

19 トラブルシューティング

19.1 高枝カッターまたはバッテリーのトラブルシューティング

障害	バッテリーのLED	原因	対策
スイッチをオンにした際に高枝カッターが起動しない。	1つのLEDが緑色で点滅する。	バッテリーの充電レベルが低すぎます。	▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500の取扱説明書の記載通りにバッテリーを充電してください。
	1つのLEDが赤色に点灯する。	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーを冷ますが温めてください。
	3つのLEDが赤色に点滅する。	高枝カッター内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。 ▶ 高枝カッターのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合は：高枝カッターの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
	3つのLEDが赤色に点灯する。	高枝カッターの温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ 高枝カッターを冷ましてください。
	4つのLEDが赤色で点滅する。	バッテリー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ 高枝カッターのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き4つのLEDが赤色で点滅する場合は：バッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
		高枝カッターとバッテリー間の電気接続が遮断されています。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。
		高枝カッターまたはバッテリーが濡れています。	▶ 高枝カッターまたはバッテリーを乾かしてください、☑ 20.6。
高枝カッターが動作中に停止する。	3つのLEDが赤色に点灯する。	高枝カッターの温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ 高枝カッターを冷ましてください。
		電気的な障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ 高枝カッターのスイッチをオンにしてください。
高枝カッターの動作時間が短すぎる。		バッテリーがフル充電されていません。	▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。
		バッテリーの耐用年数を超過しています。	▶ バッテリーを交換してください。
切断エリアで煙が発生するか、焦げる臭いがする。		ソーチエンが適切に目立てされていません。	ソーチエンを適切に目立てしてください。
		オイルタンク内のソーチエン粘着オイルが不足しています。	ソーチエン粘着オイルを給油してください。
		チェン潤滑システムがソーチエン粘着オ	高枝カッターの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

障害	バッテリーのLED	原因	対策
		イールを十分に供給していません。	
		ソーチエンの張りが強すぎる。	ソーチエンを適切に張ってください。
		高枝カッターが適切に使用されていません。	使用方法の説明を受け、練習を積んでください。
C マークが付いたバッテリーをSTIHLコネクテッドアプリで検出することができない。		バッテリーまたは携帯端末機器のBluetooth®無線インターフェースがオフになっています。	▶ バッテリーおよび携帯端末機器のBluetooth®無線インターフェースをオンにしてください。
		バッテリーと携帯端末機器の間隔が長すぎます。	▶ 間隔を短くしてください、☐ 20.4。 ▶ 引き続きバッテリーをSTIHLコネクテッドアプリで検出することができない場合：STIHL サービス店までご来店ください。

19.2 製品サポートと使用に関する助言

製品サポートと使用に関する助言は、STIHL サービス店が提供致します。

お問い合わせや他の情報については、<https://support.stihl.com> または www.stihl.com をご覧ください。

- 電圧 : 36 V
- 容量 (Ah) : 銘板参照
- エネルギー含有量 (Wh) : 銘板参照
- 重量 (kg) : 銘板参照
- Bluetooth®無線通信インターフェース (**C**マークが付いたバッテリーのみ) :
 - データ接続 : Bluetooth® 5.1。携帯端末機器は Bluetooth® Low Energy 5.0 と互換性を有し、Generic Access Profile (GAP) をサポートしている必要があります。
 - 周波数帯 : ISM バンド 2.4 GHz
 - 最大放射送信電力 : 1 mW
 - 信号の到達距離 : 約 10 m。信号強度は、周囲条件と携帯端末機器によって異なります。到達距離は、使用する受信機を含む外部条件によって大きく変化することがあります。使用場所が密閉スペースの場合や金属製バリア (壁面、棚、箱など) を通した通信では、到達距離が大幅に短縮されることがあります。
 - 携帯端末機器の OS に関する要件 : Android または iOS (現行バージョン以降)

20 技術仕様

20.1 高枝カッター STIHL HTA 135

- 許可されているバッテリー :
 - STIHL AP
 - STIHL AR
- バッテリーを除いた重量 : 6.8 kg
- オイルタンク最大容量 : 220 cm³ (0.22 l)
- 電気保護等級 : IPX4 (全方向からの水飛沫に対する保護)

耐用年数は www.stihl.com/battery-life に記載されています。

20.2 チェンスプロケット

以下のチェンスプロケットを使用できます :

- 7 枚歯、3/8" P 用
- 8 枚歯、1/4" P 用

20.3 ガイドバー溝の最小深さ

溝の最小深さは、ガイドバーのピッチによって異なります。

- 3/8" P : 5 mm
- 1/4" P : 4 mm

20.4 バッテリー STIHL AP

- バッテリー技術 : リチウムイオン

20.5 温度制限



警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発するおそれがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
 - ▶ バッテリーを-20℃未満または+50℃超過の環境下で充電しないでください。
 - ▶ 高枝カッターまたはバッテリーを-20℃未満または+50℃超過の環境下で使用しないでください。
 - ▶ 高枝カッターまたはバッテリーを-20℃未満または+70℃超過の環境下で保管しないでください。

20.6 推奨温度範囲

高枝カッターおよびバッテリーの性能を最適に保つために、以下の温度範囲を守ってください：

- 充電：+5℃～+40℃
- 使用：-10℃～+40℃
- 保管：-20℃～+50℃

バッテリーを推奨温度範囲外で充電したり、使用したり、保管したりすると、性能が低下することがあります。

バッテリーが濡れていたり、湿ったりしている場合は、+15℃～+50℃、並びに湿度70%未満で48時間以上乾燥させてください。湿度が高ければ乾燥時間が長くなる可能性があります。

20.7 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルのK値（不確かさ）は、2 dB(A)です。騒音の音響出力レベルのK値は、2 dB(A)です。振動レベルのK値は、2 m/s²です。

STIHL 社では、イヤーマフの着用をお勧めしています。

- ISO 22868 に準拠して測定した 3/8" P の音圧レベル L_{pA} ：88 dB(A)

21 バーとチェンの組み合わせ

21.1 STIHL HTA 135 高枝カッター

ピッチ	ドライブリンク クゲージ/溝 幅	長さ	ガイドバー	ノーズサブ ロケット歯 数	ドライブリ ンク数	ソーチェン
3/8" P	1.1 mm	25 cm	Rollomatic(□-□ マッチク) E / Light 04	7	39	61 PMM3 (3610 型)
		30 cm	Rollomatic(□-□ マッチク) E mini/ Light 01	7	44	

- ISO 22868 に準拠して測定した 1/4" P の音圧レベル L_{pA} ：83 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して測定した 3/8" P の音響出力レベル L_{WA} ：102 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して測定した 1/4" P の音響出力レベル L_{WA} ：96 dB(A)

シャフトを完全に縮めた状態：

- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}
 - コントロールハンドル：4.3 m/s²
 - ハンドルホース：5.1 m/s²

シャフトを完全に伸ばした状態：

- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}
 - コントロールハンドル：4.1 m/s²
 - ハンドルホース：5.6 m/s²

上記の振動値は標準化された試験方法に従って測定されており、電動パワーツールを比較するための基準として使用することができます。用途の種類によっては、実際に発生する振動レベルは上記の値とは異なる場合があります。上記の振動レベルは、振動応力を当初に推測するために使用することができます。実際に受ける振動応力は、推定する必要があります。推定時には、パワーツールのスイッチがオフの時間や、スイッチがオンでも無負荷で運転されている時間も考慮に入れることがあります。

事業者向けの振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

20.8 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

ピッチ	ドライブリンク ケージ/溝 幅	長さ	ガイドバー	ノーズスプ ロケット歯 数	ドライブリ ンク数	ソーチェン
			Rollomatic(□ー□ マチック) E Mini Light / Light P01			
		35 cm	Rollomatic(□ー□ マチック) E / Light 04	7	50	
1/4" P	1.1 mm	30 cm	Rollomatic(□ー□ マチック) E mini/ Light 01	8	64	71 PM3(3670 型)

ガイドバーの切断長は、使用する高枝カッターとソーチェンによって異なります。ガイドバーの実際の切断長は、規定値よりも短い場合があります。

22 キャリングシステムの組み合わせ

22.1 キャリングシステムの組み合わせ

高枝カッターは必ずキャリングシステムと共に使用してください。承認されているキャリングシステムは、本取扱説明書に記載されています。

肩掛けベルト



フルハーネス



バッテリーベルト（「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属）



バッテリーベルト（ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属）



サポートクッション付き STIHL AR バッテリー



キャリングシステム（「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属）



RTS 背負い式キャリングシステム



23 スペアパーツおよびアクセサリ

23.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可していません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

24 廃棄

24.1 高枝カッターとバッテリーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

25 EC 適合証明書

25.1 高枝カッター STIHL HTA 135

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル：バッテリー高枝カッター
- 製造ブランド：STIHL
- タイプ：HTA 135
- シリアル番号：LA01

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1 (EN ISO 11680-1、EN 62841-4-1 を考慮)。

指令 2006/42/EC 第 12 条第 3 項(b)に準拠した EC 型式試験の実施機関：VDE Prüf- u. Zertifizierungsinstitut (NB 0366), Merianstraße 28, 63069 Offenbach, Germany
- 認証番号：HTA 135: 40051625

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、高枝カッターに表示されています。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

26 UKCA 適合宣言

26.1 高枝カッター STIHL HTA 135

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル：バッテリー高枝カッター
- 製造ブランド：STIHL
- タイプ：HTA 135
- シリアル番号：LA01

英国規則 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply

of Machinery (Safety) Regulations 2008 および Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1 (EN ISO 11680-1、EN 62841-4-1 を考慮)。

型式試験の実施機関：Intertek Testing & Certification Ltd, Academy Place, 1 - 9 Brook Street, Brentwood Essex, CM14 5NQ, United Kingdom

- 認証番号：HTA 135: UK-MCR-0041

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、高枝カッターに表示されています。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

27 パワーツールの安全上の一般的な警告事項

27.1 はじめに

この章は、手持型モーター駆動電動工具の欧州標準 IEC 62841 に規定されている、策定済みの一般的な安全上の注意事項を複製したものです。

STIHL 社にはこうした注意事項を発行する義務があります。

「電気的な安全」に記載されている、感電を防ぐための安全上の注意事項と警告は、STIHL バッテリーツールには適用されません。

警告

- この電動パワーツールに付属する安全上の注意事項、取扱説明書、図、技術仕様にはすべて目を通してください。安全に関する警告事項や指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因になることがあります。後日参照するために、警告と指示が記載された書類をすべて保管してください。

警告中の「電動パワーツール」という語は、主電源により駆動される(コード接続)パワーツールまたはバッテリーにより駆動される(コードレス)パワーツールを指します。

27.2 作業エリアの安全

- a) 作業エリアは清潔な状態で維持し、常に十分な明るさを確保してください。雑然としているか、明るさが十分でない作業エリアは、事故を招きます。
- b) 可燃性の液体、ガス、または粉塵が存在する、爆発が起きやすい環境下では、電動パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールは火花を発生し、粉塵やガスが引火することがあります。
- c) 電動パワーツールの使用時は、子供や第三者を近付けないでください。気が散って、電動パワーツールを制御できなくなることがあります。

27.3 電気的な安全

- a) 電動パワーツールの電源プラグは、コンセントと適合している必要があります。電源プラグにはいかなる改造も行わないでください。接地された電動パワーツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグを適合するコンセントに使用すると、感電の危険が低減されます。
- b) パイプ、ヒーター、オープン、冷蔵庫等の接地された面に身体の一部を接触させないでください。身体が接地されると、感電が生じる危険が増します。
- c) 電動パワーツールは、雨や水分にさらさないでください。電動パワーツールに水が入ると、感電の危険が増します。
- d) 接続ケーブルを他の目的に使用しないでください。絶対に電源ケーブルを持って電動パワーツールを運搬したり、引っ張ったりしないでください。同様に、絶対に電源ケーブルを引いてプラグを外さないでください。電源ケーブルは高温、油分、鋭利な端部、可動部に近付けないでください。電源ケーブルが損傷するか、絡まると、感電の危険が増します。
- e) 電動パワーツールを屋外で使用するときは、屋外用の延長ケーブルを使用してください。屋外用の延長ケーブルを使用すると、感電の危険が低くなります。
- f) やむを得ず電動パワーツールを濡った場所で使用しなければならない場合は、残留電流装置(RCD)で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が低くなります。

27.4 作業者の安全

- a) 電動パワーツールを操作するときは、常に気を抜かず、作業に集中し、常識を働かせてください。疲れているときや、薬物、アルコール、または薬剤の影響下にあるときは、パワ

ーツールを使用しないでください。電動パワーツールの操作中は、一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。

- b) 作業者用保護装備を使用してください。必ず目のプロテクターを着用してください。使用する電動パワーツールと各作業に適した保護装備(防塵マスク、耐滑安全靴、硬質ヘルメット、イヤープロテクター等)は、作業者が負傷する危険を低減します。
- c) 機械が偶発的に始動しないよう配慮してください。電動パワーツールのスイッチがオフになっているか確認してから主電源に接続したり、持ち上げたり、運搬したりしてください。オン/オフスイッチに指を載せるか、電動パワーツールのスイッチをオンにしたまま電動パワーツールを運搬すると、事故が起きるおそれがあります。
- d) 設定用の工具やレンチを取り外してから電動パワーツールの電源を入れてください。工具やスパナを電動パワーツールの回転部品に取り付けたままにしておくと、負傷事故が起きるおそれがあります。
- e) 不自然な姿勢は避けてください。常に適切な足場とバランスを維持してください。想定外の状況下で電動パワーツールを制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆったりとした衣服や装身具は身に付けしないでください。髪の毛と衣服を可動部に近付けないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部に絡まるおそれがあります。
- g) 集塵機を設置できる場合は、適切に接続し、使用してください。集塵機を使用すると、粉塵に関連する危険を低減することができます。
- h) 電動パワーツールに完全に慣れていても、油断したり、安全規則を無視したりしないでください。不注意によって一瞬で重傷を負うおそれがあります。

27.5 電動パワーツールの使用と保守

- a) 電動パワーツールに無理な力を加えないでください。用途に適した電動パワーツールを使用してください。適切な電動パワーツールを使用すると、設計上の速度で、より効率的かつ安全に作業が遂行されます。
- b) スイッチが故障している場合は、電動パワーツールを使用しないでください。スイッチで電源を制御できない電動パワーツールは危険であり、修理する必要があります。
- c) 電源からプラグを抜くか、本体からバッテリーパックを取り外してから、パワーツールの調整、アクセサリーの交換、またはパワーツ

- ールの保管を行ってください。こうした安全予防措置を講じると、電動パワーツールが偶発的に始動する危険が低減されます。
- d) 使用していない電動パワーツールは、子供の手の届かない場所に保管してください。操作に慣れていないか、取扱説明書や助言書をお読みいただいていない作業者には、電動パワーツールを使用させないでください。電動パワーツールは、訓練を受けていない作業者が使用すると危険です。
- e) 電動パワーツールとアクセサリーは、保守をしながら使用してください。可動部品のずれや固着、部品の損傷、電動パワーツールの機能に影響を及ぼすおそれがある他の不具合がないか点検してください。損傷している場合は、電動パワーツールを修理してから使用してください。事故の多くは、保守が不適切な電動パワーツールによって引き起こされています。
- f) カuttingアタッチメントは、常に目立てをした清潔な状態に保ってください。刃先を目立てし、慎重に保守したCuttingアタッチメントを使用すると、作動しなくなる可能性は低くなり、制御が容易になります。
- g) 電動パワーツール、アクセサリー、工具ビット等は、作業条件と実施する作業内容を考慮しながら、これらの指示に従って使用してください。電動パワーツールを本来の用途以外に使用すると、危険な状況が生じるおそれがあります。
- h) ハンドルやグリップの表面は、オイルやグリースが付着していない、清潔で乾いた状態に保ってください。ハンドルやグリップの表面が滑りやすくと、電動パワーツールを適切に操作できなくなり、想定外の状況が生じたときに制御を失います。
- d) 不適切な方法で使用すると、バッテリー液が漏れ出すことがあります。バッテリー液には触れないでください。誤って触れた場合は、水ですすいでください。バッテリー液が目に入ったときは、さらに医師の診断を受けてください。バッテリーから漏れ出した液は、炎症や火傷の原因になることがあります。
- e) 損傷したり、改造したりしたバッテリーパックやパワーツールは使用しないでください。損傷したバッテリーや改造したバッテリーは想定外の反応を示し、火災、爆発、負傷事故を引き起こすおそれがあります。
- f) バッテリーパックやパワーツールを火気や高温にさらさないでください。火気または130 °C (265 °F)以上の温度によって爆発が生じるおそれがあります。
- g) 充電に関する指示をすべて遵守し、バッテリーパックやパワーツールは、取扱説明書に記載されている温度範囲を超える環境下では充電しないでください。不適切な方法で充電するか、規定の温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷し、火災が生じる危険が増すことがあります。

27.7 修理点検

- a) パワーツールの修理は認可を受けた修理技術者に依頼し、同一交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全性を維持することができます。
- b) 損傷したバッテリーは、絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ずメーカーまたは認定を受けたサービス店に依頼してください。

27.6 バッテリーツールの使用と保守

- a) バッテリーを充電するときは、必ずメーカーが指定した充電器を使用してください。特定の種類のバッテリーパックに適した充電器を他のバッテリーパックに使用すると、火災の危険が生じる可能性があります。
- b) パワーツールは、必ず専用バッテリーパックと共に使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、ケガおよび火災の危険が生じることがあります。
- c) バッテリーパックを使用していないときは、端子どうしを接続する可能性のあるペーパークリップ、硬貨、鍵、くぎ、ねじ等の小さな金属製の物体に近付けないでください。バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因になることがあります。

www.stihl.com



0458-698-4321-B



0458-698-4321-B